

都市再生整備計画(第2回変更)

とくやまえきしゅうへん
徳山駅周辺地区

やまぐち しゅうなん
山口県 周南市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	山口県	市町村名	しゅうなんし 周南市	地区名	とくやまましゅうへんぐ 徳山駅周辺地区	面積	270	ha							
計画期間	平成	18	年度	～	平成	25	年度	交付期間	平成	18	年度	～	平成	22	年度

目標

- 大目標：新幹線駅に隣接する港や豊かな緑などの資源を最大限に活かし、駅を中心とする賑わいの交流ステージを創造する。
- 目標：徳山駅南北に位置するさまざまな都市機能を連携し、市の顔としての拠点性の向上を図り、中心市街地の活性化を促す。
- 目標：多くの交通が集まる結節点として、交通関連施設の整備、動線の明瞭化及びバリアフリー化を推進し、交通結節点機能の改善を図る。
- 目標：徳山港、御幸通の豊かな緑などの特徴的な景観を活かし、周辺の公共施設との一体的な整備により、地区の魅力向上を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・周南市の中心市街地は、山口県を代表する商業・業務の拠点として発展してきたが、近年、他の地方都市と同様に空洞化が進行しつつある。
- ・平成2年3月に策定した「徳山トライアングル構想」にはじまり、これまで再開発計画や中心市街地活性化基本計画、駅前広場計画、駐車場計画など非常に多くの計画を策定し、中心市街地活性化に向けた活発な取り組みを行ってきた。
- ・「徳山下松港ポータルネッサンス21調査報告書」（平成3年3月山口県）では、優れた交通立地性や恵まれた親水空間など高いポテンシャルを有する徳山下松港のウォーターフロントゾーンを、中心市街地整備に合わせ再備するとともに、臨港地区として業務機能の集積などによる有効利用を促進し、人々に親しまれる活気ある港湾を目指すこととしている。
- ・平成15年4月に徳山市、新南陽市、熊毛町、鹿野町が合併し、さらには同年10月1日より新幹線のぞみが徳山駅に停車するようになり、本地区は周南市の中心として一層高い位置付けとなった。
- ・平成15年のまちづくり総合計画策定の一環として実施された市民の意識調査においても「中心市街地の整備」を望む意見が63.7%と圧倒的であった。
- ・「徳山駅周辺整備構想」（平成17年2月周南市）の策定にあたり、学識経験者、関係交通機関、公募市民と協働で63回(延べ約600人)のワークショップや検討会を実施し、まちづくりの気運も盛り上がっている。

課題

- ・拠点性の向上と中心市街地の活性化
- ・山陽新幹線をはじめとする鉄道やバスなどの広域交通の要衝であり、本市の顔、玄関口として重要な役割をはたす地区であるが、景観、利便性等に配慮した一体的な整備がなされていない。
- ・合併し新たに誕生した本市にとって、本地区は都市機能や多様な産業がある程度集積しているにもかかわらず、拠点性や、都市としての魅力が欠如している。
- ・TMO徳山（徳山商工会議所）が商店街活性化のためのソフト事業の展開に取り組んでいるが、それに連携した基盤整備がなされていない。
- ・バリアフリー化の推進と交通結節点機能の改善
- ・駅および周辺施設において、階段等の段差のある施設も多く、エレベーター、エスカレーター等の整備も十分でなく、バリアフリー化の遅れが目立つ。
- ・JR徳山駅には、山陽新幹線をはじめとする鉄道やバス、タクシー、また、徳山港には、周防灘フェリーや大津島巡航が就航するなど、本地区は広域交通の結節点である。しかしながら交通処理の円滑化や安全性に問題があり、交通結節点として十分機能していない。
- ・地区の魅力向上と南北連携の強化
- ・人が集まり、賑わいを創造するための、人にゆとりと潤いを与える「憩いの場」が不足している。
- ・駅北側には周南地区の発展をリードしてきた商店街・商業施設、また、周南地域のバス交通の拠点となるバスターミナル機能を有している駅前広場や、緑豊かな御幸通り、駅南側には、県がポータルネッサンス21計画で整備を進めている徳山下松港がある。こうした、それぞれの特徴を活かした一体的な整備がされていなく、鉄道により南北が分断されている。

将来ビジョン(中長期)

- 心豊かに、快適に、安心して、生き生きと活躍できる「周南市」をともに築いていくまちづくり「私たちが輝く元気発信都市 周南」
- ・周南市まちづくり総合計画「ひと・輝きプラン 周南」（平成17年3月）においては、まちづくりの基本理念として“市民の視点にたったまちづくりの推進”、“市民と行政の協働による人間尊重のまちづくりの推進”、“一体感のあるまちづくりの推進と各地域の新たな発展を促すまちづくりの推進”を掲げ、市民一人一人がさまざまなライフステージで輝きを放ち、内外に向けて“元気”を発信できる都市の創造を目指すこととしている。また、目標として、都市のグレードアップを図るべく、駅南やウォーターフロントを含めたJR徳山駅周辺の整備事業に取り組み、本市の顔にふさわしい高次都市施設の集積を行い、中心市街地の活性化を図り、賑わいの場の創出や交流の促進に努めることとしている。
- ・「徳山駅周辺整備構想」（平成17年2月周南市）においては、駅北の公共公益機能や商業・業務機能が集積する中心市街地、御幸通りの豊かな緑、また駅南の大規模な工業用地や全国的にも数少ない新幹線駅に隣接した港である特定重要港湾・徳山下松港などの徳山駅周辺に集積する高いポテンシャルを最大限に活かし、南北連携による周辺地域の活性化、賑わいを創出し、周南市の顔づくりを推進することとしている。

目標を定量化する指標

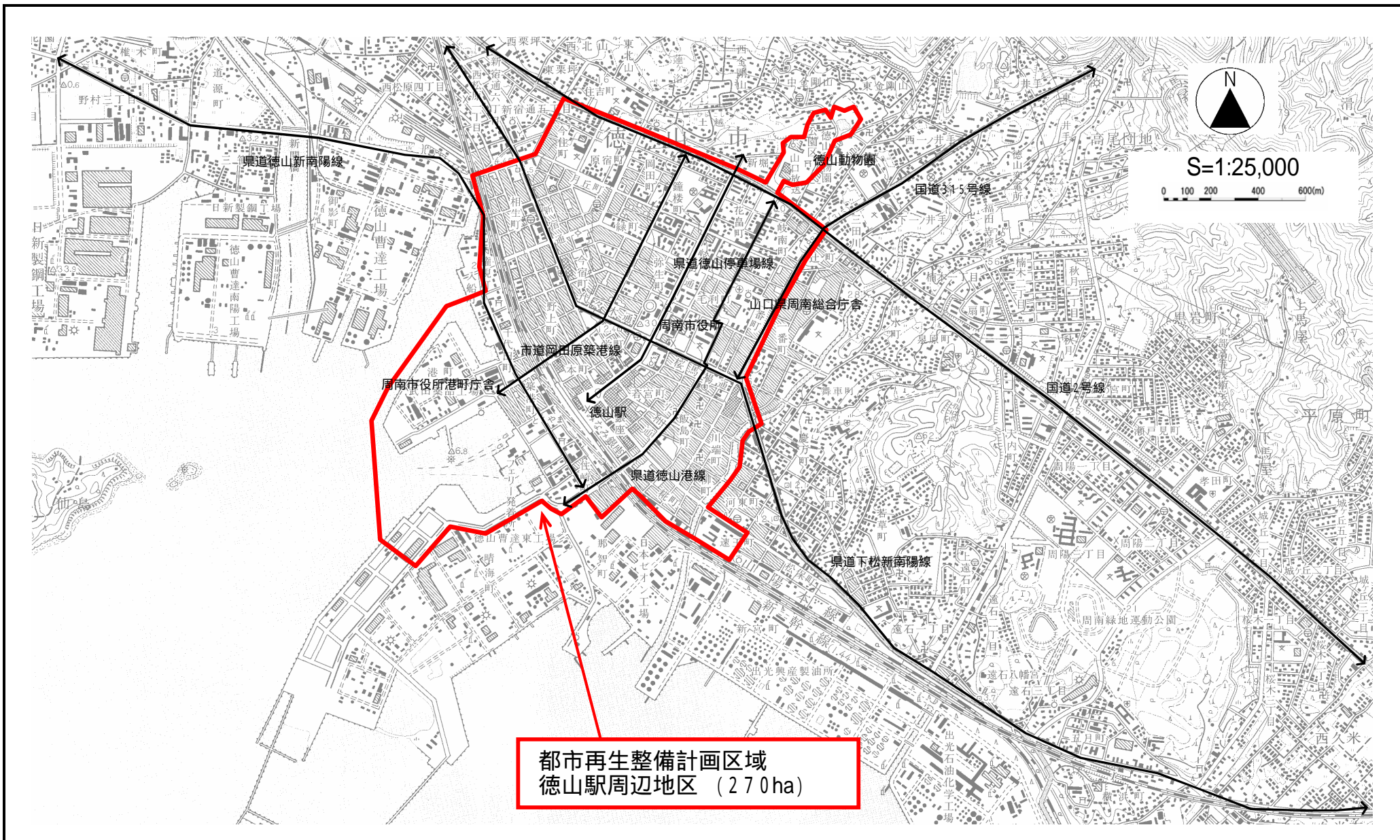
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性		従前値		目標値	
						基準年度		目標年度
1.商店街空き店舗率	%	中心市街地商店街の空き店舗率	中心市街地の活性化を把握するため、空き店舗率を指標とし、毎年増加している空き店舗率の減少を目指す。 (H14: 8.2% H15: 10.8% H16: 12.3%)	14.7	H17	17.0	H22	
2.徳山駅乗降客数	人/日	JR徳山駅の日当たりの乗降客数	中心市街地の活性化、交通結節点の改善効果を把握するため、JR徳山駅乗降客数を指標とし、毎年減少している乗降客数にはどめをかけることを目指す。	14,472	H17	13,000	H22	
3.駅・駅前広場利用満足度	%	JR徳山駅と駅前広場に対するアンケート調査による満足度	交通結節点の改善効果や、憩いや潤いのある使いやすい駅施設であるかを把握するため、駅・駅広についてのアンケート結果を指標とし、その満足度が向上することを目指す。	17.1	H17	30.0	H22	
4.駅南北の歩行者交通量	人/日	南北地下道及び南北自由通路の日当たり通行者数	南北の連携や、両地区の魅力向上による交流人口数の増加効果を把握するため、南北地下道及び南北自由通路の通行者数を指標とし、その増加を目指す。	1,297	H17	1,150	H22	
5.コミュニティバス利用者数	人/年	無料券を使ってコミュニティバスを利用した年間乗車人数	観光施設と中心市街地の交流人口の増加効果を検証するため、観光施設利用者が無料券を使いコミュニティバスに乗った人数を指標とし、その増加を目指す。	0	H17	6,000	H22	

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1) 都市の魅力向上と賑わいの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道により分断された南北の各連絡道および港へのアクセス道を整備し、駅を中心として商店街やウォーターフロントへの交流人口を増やし賑わいを創出する。 ・統一的なデザインコンセプトのもと、南北駅前広場および駅施設のシンボリックな整備により、都市景観を向上させ市の顔としてふさわしい玄関口とする。 ・休憩、滞留、販売、情報発信等のさまざまな機能を導入した南北自由通路、市民交流センター、駅ビルを整備し、市民活動の拠点づくり、地区周辺の賑わいの創出、中心市街地の活性化を図る。 ・施設の企画段階から最終的な運営方針までを市民と協働で検討し、住民まちづくりの活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・徳山駅北口駅前広場整備事業(関連事業) ・駅ビル建設事業(関連事業) ・南北自由通路整備事業(関連事業) ・徳山駅南口駅前広場整備事業(関連事業) ・市道岡田原築港線道路改良事業(基幹事業:道路事業、高質空間形成施設) ・公民連携まちづくり委員会(提案事業:まちづくり活動推進事業)
<p>整備方針2) 人にやさしい駅の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南北駅前広場およびフェリーターミナルの各交通機関の相互乗換がスムーズに行えるようにレイアウトを再配置し、利用者動線の明確化と円滑化を図り、交通結節点機能を改善する。 ・駐車場駐輪場整備計画を策定し、違法駐車による交通渋滞や放置自転車による都市景観の阻害を解消する。 ・バリアフリー基本構想を策定し、高齢者や障害者等の移動制約者が、交通公共機関や駅周辺施設を快適かつ安全に移動できる施設整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・徳山駅北口駅前広場整備事業(関連事業) ・南北自由通路整備事業(関連事業) ・徳山駅南口駅前広場整備事業(関連事業) ・フェリーターミナル整備(関連事業) ・バリアフリー交通施設整備事業(基幹事業:都市再生交通拠点整備事業、提案事業:地域創造支援事業) ・市道遠石江口線改良事業(基幹事業:高質空間形成施設)
<p>整備方針3) ゆとりある空間の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・象徴的な御幸通の緑軸を受け止めるオープンスペースを北口駅前広場に設置し、ゆとりと潤いの空間を創出する。 ・ポートルネッサンス21計画と整合性を保ちながら、ウォーターフロントの整備と、そこに向かう各道路の整備を行い、ゆとりと潤いの空間を創出し、人の回遊性を持たせる。 ・「中心市街地～北口駅前広場～南北自由通路～港」間にストーリー性のある賑わいの軸を形成するために、オープンスペースやゆとりある歩道空間、高質な空間を確保する。 ・周南市の特産品「ふく」をはじめとする地元の新鮮な海産類の飲食・販売を行う施設を整備し、フェリーターミナル整備と併せて、地域情報の発信と地域活力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・徳山駅北口駅前広場整備事業(関連事業) ・徳山駅ビル建設事業(関連事業) ・市道岡田原築港線道路改良事業(基幹事業:道路、高質空間形成施設) ・特産品施設整備事業(関連事業) ・フェリーターミナル整備事業(関連施設) ・徳山下松港ポートルネッサンス21(関連事業) ・市道遠石江口線改良事業(基幹事業:高質空間形成施設)
<p>その他</p> <p>事業終了後の継続的なまちづくり活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政においては、鉄道、バス、タクシーなどの交通機関や周辺商店街の活動団体と密接に連携を図り、駅を中心とするにぎわいの創造に向けた取り組みを継続していくこととしている。 ・徳山駅周辺地区整備における港湾計画との整合性の確保、周辺道路網との連携と調和、中心市街地の活性化に資するソフト施策との連携、都市全体の景観形成のあり方などの検討課題を、関係機関との協議、調整のもとに検討を進め、周南市の顔づくりを推進していく予定である。 <p>交付期間中の計画の管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付期間中のまちづくりの目標達成に向け、庁内に徳山駅周辺整備プロジェクトを設置し、問題の処理、計画の調整・改善を行う。 <p>まちづくりに対する市民意識について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成15年(2003年)に実施したまちづくり市民アンケート(18歳以上6,500人対象、回収率40.2%、回答数2,615件)において、今後のまちづくりのイメージとして「活力・にぎわい」を要望している市民が多く(46.8%、複数回答)、中心市街地を含め市全体で活力・にぎわいの創造に寄与する施策の推進が急務である。 <p>商業活性化に向けたソフト的取り組みとの連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TMO徳山(徳山商工会議所)が商店街活性化に向けて、「街なかふれあいバス事業」「まち輝き活動団体育成事業」「交流拠点施設運営事業」などさまざまなソフト事業に取り組んでいる。こうしたソフト的な取り組みと連携し事業者との協働により地域の商業活性化の振興を図っていく予定である。 	

都市再生整備計画の区域

徳山駅周辺地区(山口県周南市)	面積 270 ha	区域 御幸通2、銀南街、新町1、有楽町 他
-----------------	--------------	--------------------------



都市再生整備計画区域
徳山駅周辺地区 (270ha)

トクヤマエキ ヤマグチケン シュウナンシ
徳山駅周辺地区(山口県周南市) 整備方針概要図

目標	大目標: 駅を中心とするにぎわいの交流ステージを創造する	代表的な指標	商店街空き店舗率 (%)	14.7 (17年度)	17.0 (22年度)
	目標 拠点性の向上と中心市街地の活性化 目標 バリアフリー化の促進と交通結節点の改善 目標 周辺の一体的な整備と地区の魅力向上		駅南北の歩行者交通量 (人 / 日)	1,297 (17年度)	1,150 (22年度)
			コミュニティバス利用者数 (人 / 年)	0 (17年度)	6,000 (22年度)

